

教職員のコーナー

新しく赴任された先生方から

中村 民江

本年度、大阪の守口より赴任して参りました中村民江と申します。赴任して一ヶ月が経とうとしております。今日も朝、広安里の海は、キラキラ輝き、一日が始まります。温かい心で、皆様に迎えて頂いたことをとても嬉しく思い、希望に燃えております。

釜山は、日本に近く、広安大橋を眺めてみると、明石大橋が思い出され、日本にいるかのような気持ちになります。しかし、言葉や文化の違いを目の辺りにすれば、まさしく外国なのだ意識します。子ども達には、外国語の習得と共に、日本の伝統文化の良さを学んでほしいと思います。真っ白な気持ちで、ひたむきに学ぼうとしている一年生を始め、子ども達の学習意欲には圧倒されます。学校に子ども達の元気な声が響き、学習活動も順調に進んでおりますが、こんな素晴らしい子ども達の眼が曇らないよう、安全で明るく楽しい学校づくりをめざします。

韓国の子ども歌でアプロという素敵な歌があります。前進するという歌で、まさしくその心を持ち続け、来年度の三十周年行事を見据えて取り組みたいものです。

保護者の皆様、総領事館、学校運営委員会、日本人会や関係諸機関の皆様との連携を密にして、釜山校長の下、教職員一丸となって学校づくりに邁進したいと思います。

特に、学校の安全危機管理には、細心の注意を怠らず、未然防止に努めて参りますのでどうぞ、宜しく願いいたします。

鎌田 実

みなさんこんにちは。この度、釜山日本人学校に転任してまいりました鎌田と申します。昨年までおりました今野教頭先生、小野寺先生と同じ宮城県の出身です。桜の花のつぼみも、まだふくらみ始めたばかりの宮城県から、桜がもう満開の釜山へ着任しました。

日本から最も近い日本人学校であると感じ、最初は日本と同じことが多いのではないかと樂觀していましたが、実際に1週間あまり生活してみて、もうそのような安易な考えは通用しないと実感しています。まず気候の違いにすぐに気付きました。日本から近くても大陸性の気候だからなのでしょうが、植物の環境が違うので

しょうか「花粉症」「ぜんそくによる呼吸困難」などの症状が全くなくなりました。また、(変な話ですが...)すずめが少ないことにも違いを感じています。その他、食べ物はもちろん言語、習慣、文化などなど韓国というものをたくさん実感しています。

私の前任校は、全校児童850名の大変大規模な学校でした。海外日本人学校ということだけではなく、初めての小規模学校ということにもとても新鮮さを感じています。釜山日本人学校の子どもたちは明るく純真で素晴らしい子どもたちでした。この子どもたちと一緒にこれからたくさんの方のことを学んでいきたいと思いません。小規模であるからできること、海外の日本人学校だからできることを常に念頭に置き、子どもたちの健やかな、そして着実な成長を願い実践してまいりたいと思いません。

特に私は、体育を専門としております。体育の授業はもとより1時間1時間の授業に全力投球で望んでまいる所存です。まだまだ若輩で皆様にご迷惑をおかけするかと思いますがどうぞよろしくお願いいたします。

村上 里美

はじめまして。釜山に来て、あっという間に2週間がすぎました。こちらに赴任するまでは、期待と不安で胸がいっぱいでした。そして、始業式。初めて子どもたちにあつた時、みんな明るく、元気に「おはようございます。」と礼儀正しく挨拶してくれました。新しい環境で緊張していた私の心を和ませてくれて、本当にうれしく思いました。これから、釜山日本人学校で、子どもたちと一緒に勉強したり、遊んだり、同じ時間を大切に過ごしていきたいと思いません。

私は、以前、韓国に訪れたことがあります。韓国は、わたしにとってとても思い出に残る場所の一つでした。それは、韓国で出会った人々のおかげです。困った時に助けていただいたり、旅先で話をさせていただいたりして、心が和んでいったのです。韓国人の方だけでなく、偶然に出会った日本人の方々と出会ったことは一生忘れられません。その土地で私は、釜山日本人学校の子どもたちのために真剣に仕事をしていきます。保護者の皆様にもたくさんの方のことを教えていただき、自分を成長させていきたいと思っております。どうか、よろしくお願いいたします。

(前任校は東京の渋谷区立鳩森小学校でした。新宿からすぐそばの学校で、子ども数や雰囲気はそっくりでとても親しみやすくうれしく思っています。)

